

埼玉りそな 経済情報

5

月号

May 2026

No.269

- 1 **彩論** 株式会社デジタルSKIPステーション 代表取締役社長 **廣川 達郎氏**
—— NHK新制作拠点とともに進化するSKIPシティ
- 2 **ズームアップ** **吉見グループ株式会社**
- 5 **経営者セミナー** **つながる心で、豊かな輝きを**
～楽しみながら、自分を大事に～
俳優 **賀来 千香子氏**
- 9 **調査** **埼玉県における産業動向と見通し**
—— 埼玉県内産業の先行きはほぼ横ばいで推移する見通しであるが、中東情勢の長期化による影響の拡大が懸念。一部産業では中東情勢の影響がすでに発生
- 15 **アンケート調査** **埼玉県内設備投資動向調査**
—— 2026年度の設備投資は「計画有り」が59.5%、前年を下回るものの堅調さを維持
- 17 **県内経済の動き**
- 19 **月次経済指標**
- 21 **タウンスケープ** **吉見町**
—— 未来へつなぐ みんなで安心して暮らせるまち よしみ
——20年先への種まき——
- 裏表紙 **市町村経済データ**



吉見百穴と満開の桜(吉見町)



埼玉りそな銀行

RESONA

公益財団法人

企画編集 **埼玉りそな産業経済振興財団**

NHK新制作拠点とともに 進化するSKIPシティ

株式会社デジタルSKIPステーション
代表取締役社長 廣川 達郎氏



SKIPシティは、2003年2月より映像関連産業を核とした次世代産業の集積拠点として川口市に整備された特色あるエリアです。これまで、映画やテレビ番組など多様な映像コンテンツの制作環境と技術、人財が交差する場として発展してきました。

こうした環境の中、株式会社デジタルSKIPステーションはSKIPシティの中核施設として整備された「彩の国ビジュアルプラザ」の運営に関わる企業として、6つの施設群（映像ミュージアム、映像公開ライブラリー、4Kスタジオ、映像制作支援室、映像ホール、インキュベートオフィス）の運営業務および維持管理業務を主に担っています。

映像ミュージアムでは、映像制作技術や映像表現の仕組みを体験的に学ぶことができます。また、常設展示に加えて企画展を開催し、多彩なジャンルの映像コンテンツを紹介しています。さらに、映像公開ライブラリーはNHKアーカイブスと隣接しており、デジタル化して収録された映像コンテンツを視聴することができます。平日は校外学習の児童、週末は家族連れを中心に大変にぎわう施設となっています。

4Kスタジオ、映像制作支援室、映像ホールでは、4K対応の施設において、映像作品の撮影から編集、上映まで一貫して行うことができ、映像制作に関わる多くの事業者にご利用いただいています。

インキュベートオフィスでは、これからを担う若手映像クリエイターが低廉な賃料で入居し、前述した施設や機材を活用してSKIPシティで映像制

作を行っています。

また、弊社では、NHK BS「街角ピアノ」シリーズなどNHKの番組制作の受託のほか、川口駅前キュポ・ラ ビル内の川口市立映像・情報メディアセンター「メディアセブン」の指定管理業務や川口市赤山のイイナパーク川口内にある川口市立歴史自然資料館の運営業務を受託し、地元川口市との連携を強化しています。

さて、SKIPシティでは、2023年9月より延べ床面積28,500㎡のNHK川口施設（仮称）東棟の建設工事が進められてきましたが、先日竣工しました。令和10年度からの運用開始が予定されており、運用開始後はこのSKIPシティにおいて、朝の連続テレビ小説や大河ドラマといった日本を代表する大型番組が制作されることとなります。SKIPシティにとって大きな節目であり、地域にとっても新たな発展の契機となる出来事となります。

埼玉県では、今回NHKとの連携によりSKIPシティのにぎわい創出を図ることを目的として、NHKが有する先端技術や映像コンテンツを映像ミュージアムで展示することや、20年以上続いた国際Dシネマ映画祭をリニューアルし開催する「キネテクフェスティバル（仮称）」では、NHKと連携した情報発信を行うこととしております。弊社としてもこの機会を逃すことなく、これらの展示やイベント運営に関わってまいります。

SKIPシティの発展とともに歩んできた弊社として、NHK新制作拠点の整備という転換点をしっかり見極め、地域の映像関連産業の発展の一翼を担う存在として、今後も挑戦を続けてまいります。

自動倉庫として国内最大級規模の上里冷凍物流センターを稼働。 質の高い物流プランを提供し、確かな信頼で存在感を示す

食品物流を中心に人材派遣、不動産、パレット製造と幅広く事業を展開する吉見グループ。物流事業では常温、冷蔵、冷凍の3温度帯をカバーし、自動倉庫として国内最大級規模となる上里冷凍物流センターを持つ。同社は、顧客の課題に向き合い、質の高い最適な物流プランを提供して顧客の確かな信頼を得ている。



代表取締役社長 大久保 直政氏

- 代表者 代表取締役社長 大久保 直政
- 創業 大正13年7月
- 設立 昭和23年4月
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 1,351人(グループ合計)
- 事業内容 持株会社としてグループ全体の経営戦略の策定・推進、グループ経営監査、その他経営管理等
- 所在地 〒360-0024 埼玉県熊谷市問屋町2-4-18
ソシオ熊谷情報センタービル5階
TEL 048-528-3300 FAX 048-528-3302

- URL <https://www.yamaichi-y.jp> (ヤマイチ)
- <https://www.asentrust.co.jp> (アセントラスト)



創業102年の社歴を持つ吉見グループ株式会社は、物流を軸に人材派遣、不動産、パレット製造等、多くのグループ企業を抱え幅広く事業を展開している。

物流事業は、常温物流の株式会社ヤマイチと低温物流の株式会社ヨシミフーズが担い、常温、冷蔵、冷凍の3温度帯を手がけている。卸会社や食品メーカーを中心とした顧客の食料品や医薬品、日用雑貨といった商品を、スーパーマーケットやドラッグストア、ディスカウントショップなどに配送するのが主な業務だ。

人材派遣事業は、株式会社スキルプラザと株式会社キャリアコンパスが幅広い業界に人材を派遣しており、パレット製造事業は株式会社アセントラストと三栄実業株式会社が、物流事業に必要な木製パレットの製造・販売とリサイクル販売を手がけている。そして不動産事業は株式会社松本安右衛門商店、グループの間接業務は吉見商事株式会社が担っている。

「当社の事業の軸は物流です。長年、総合食品卸として物流も手がけていましたから、卸会社の品を小売店に運ぶ卸物流が得意な企業として成長してきました。近年は事業領域を広げ、メーカーさんの工場内物流も含めたメーカー物流に力を入れています」

(大久保直政社長)

同社グループは熊谷、騎西、久喜、前橋、千葉に常温帯の大型倉庫や配送センターを持つほか、熊谷、行田、上里に冷凍、冷蔵倉庫を持つ。中でも令和4(2022)年に竣工した、広さ1.6万㎡、2.8万パレットの保管が可能な上里冷凍物流センターは、最先端の技術を導入して省人化を図る自動倉庫として国内最大規模の広さを誇る。物流事業者の中でも冷凍・冷蔵の大型倉庫を持つ企業は少なく、同社グループのように大型冷蔵・冷凍倉庫を持ち、3温度帯をカバーする企業は希少な存在だ。

→ 時代に合わせ、事業の軸足を変えて成長

同社の創業は大正13(1924)年。初代社長・大久保一氏(現社長の曾祖父)が海産物を取り扱う「吉見屋商店」を興したのが始まりだ。一氏は小売業から海産物卸業そして総合食品卸売業と、時代とともに事業を変化させ成長させた。

そして、小売チェーンの多店舗化が急速に進んだ1970年代。2代目社長・大久保政一氏は大量販売を

行うスーパーマーケットのニーズに合わせ、大量に仕入れて倉庫に保管し大量販売する仕入れ・保管システムを構築する。

さらに冷凍食品など、新たな商品に対する保管・管理の取り組みを進め、北関東で圧倒的な存在感を誇る総合食品卸売企業へと成長させた。

2000年代に入ると消費者のニーズが細分化されて扱う商品も多種多様になり、卸売業者はこれまで以上の規模が求められるようになっていった。そこで3代目社長・大久保和政氏(現・同社会長)は、これまで卸売業で培ってきた物流業務に経営資源を集中し、総合食品卸売事業から、食品物流を主体とする企業グループへ体制を変革していった。

「当社には、社長を引き継いでも常に創業者として取り組み、という不文律があります。時代や経営環境そして将来を見通しながら、それぞれの代で小売りから卸、卸から物流へと経営の舵を切ってきたのです」

同グループは、初代社長の「美味しいを届けたくて」という信念のもと、時代や社会の変化に柔軟に対応しながら、一貫して食に携わるビジネスを展開し、成長を続けてきた。

➔ 顧客の課題に寄り添ってプランを提案

ヤマイチとヨシミフーズが担う事業は、卸物流とメーカー物流、そして小売業の物流センター運営である。卸物流および小売業の物流センター運営では、卸売会社からスーパーマーケットやディスカウントショップ、ドラッグストア等の店舗に卸すための商品を自社倉庫で保管して在庫管理や仕分けを行い、店舗配送の指示を出す。両社共に自社で物流車両を持たず、トラックを持つ運送業者と協業して食料品を中心に酒類、医薬品、ペットフード、化粧品から洗濯機やクーラー等の家電製品等まで、卸先店舗が販売する多種多様な商材すべてを管理・配送する。

「長年にわたり運送業者のネットワークを構築し、広げてきました。それを生かしてお客さまのニーズに合

わせてエリアごとに最適な運送業者さんと協業し、最適な物流プランを提案しています。卸物流以外にも業容を広げようと、私の代でメーカー物流をスタートさせました」

メーカー物流では、顧客の各工場で生産された商品をマザーセンターとなる同社の倉庫にまとめ、そこから全国の拠点に配送したり小売店に卸している。顧客となるメーカーの物流事業を包括的に請け負うた



め、最適な物流プランを構築するにはニーズや課題を理解し、顧客とともに付加価値の高いシステムを作り上げていくことが重要となる。

同社は顧客の元に何度も足を運んで現状を把握し、上場企業であればホームページで紹介されている顧客の中期経営計画を担当者全員が熟読し、それを踏まえて顧客の目標実現に向けたプランの立案と物流倉庫の仕様を設計していく。

さらに作業の効率化や物流コストの抑制、全国各地にスムーズに配送するための配送ルートの設定など、きめ細かなコンサルティングで顧客の望む物流システムを作り上げていく。

「お客さまの中期経営計画を理解して何を狙っているのかをしっかりと把握し、それをかなえる提案をしています。お客さまから、『難しいと思っていたのに、私たちが作りたい理想形がここに出来上がった。こんなに素晴らしいことはない』という言葉をいただいた時は、すごくうれしかったです」

構築した物流プランは、顧客にとって最適な状態を維持できるよう、常に更新されている。



→ 大久保社長の代でさらに事業の幅を広げる

同グループの人材派遣事業は、大久保和政会長が新規事業として立ち上げた。スキルプラザは、埼玉県を中心とする関東エリアの総合人材サービスを行い、物流や製造業、小売業、一般企業など幅広い職種を取り扱う。さいたま支店、サテライト熊谷のほか群馬に北関東支店を設け、堅実に成長を続けている。キャリアコンパスは短期・短時間、扶養内勤務、ダブルワークなどの案件に特化した紹介を行っている。どちらも、年々登録者数、企業紹介件数を順調に伸ばしている。

パレットの製造・販売を行うアゼントラストは大久保

社長が令和2年に創業し、令和4年に三栄実業が新たにアゼントラストグループに加わった。

「私は入社後、経営企画室で新事業を立ち上げる仕事を任されました。輸入される海外商材の多くは木製パレットで運ばれますが、そのパレットは廃棄物となってしまいます。これを再利用できないかと思いました。食品と医薬品以外の商材は木製パレットを使うので、この事業を介して、さまざまな業界とのパイプを強化していきたいと考えています」

アゼントラストは、国内外から最適な木材を仕入れて顧客の条件に応じて材料を選択し、低価格・高品質の木製パレットを製造している。また、不要パレットの買い取り、リユース、リサイクルも行っており、循環型社会の形成にも貢献している。

→ エリアリーディングカンパニーを目指す

大久保社長は令和3年に吉見グループの社長に就任し、社内改革を行った。例えば、役職以上の社員に決算書を開示し、目標の解像度を上げることで達成に向けた取り組みへの意欲を高めたり、営業だけでなく間接部門やグループ企業の社員の評価基準を開示して社員のモチベーションを向上させるなど、さまざまな施策を実行してきた。そうすることにより、いっそう社員一丸となって取り組む体制が強化されたという。

「今後もすべての事業でお客さまと信頼関係をしっかりと築きながら、『この会社に頼めば大丈夫』と言われるような体制にしていく。そして地域の方々からも『この会社にお願ひすれば何とかしてくれる』と思われる“エリアリーディングカンパニー”となって、存在感を示していきたいです」

同社の企業理念は、“地域産業プロデュースにより、豊かさと夢を実現させる”である。同社は今後も時代のニーズを見極めながら事業を進化させ、地域社会、取引先、同社グループ社員の豊かさと夢の実現に向けて歩みを進めエリアリーディングカンパニーを目指していく。

経営者セミナー

つながる心で、豊かな輝きを ～楽しみながら、自分を大事に～



賀来 千香子氏

俳優

プロフィール

東京都出身。女子美術短期大学在学中より、雑誌『JJ』モデルとして芸能活動を始め、1982年TBSドラマ「白き牡丹に」で主演デビュー。TVドラマ「男女7人夏物語」「ずっとあなたが好きだった」「誰にも言えない」「七人の女弁護士」、舞台「細雪」「しあわせの雨傘」等話題作に出演。雑誌のモデルやCM、ドラマ、舞台、番組の司会など多方面で活躍中。最近の主な出演作品：「TRUE COLORS」「天久鷹央の推理カルテ」「大岡越前8」「Believe-君にかけける橋-」「あしたも晴れ!人生レシピ」「あなたの知らない京都旅」、映画「おしゃべりな写真館」。また現在「豊の国がぼす特命大使」、北海道十勝「しかおい応援大使」を務める。

2026年1月23日(金)、俳優の賀来千香子さんを講師にお迎えし、「つながる心で、豊かな輝きを ～楽しみながら、自分を大事に～」と題して講演会を開催しました。その概要をお伝えします。

一期一会のご縁に感謝して

本日は、経営者セミナーという大変光栄な場にお招きいただき、ありがとうございます。

実を申しますと、このお仕事のお話をいただいたとき「なぜ私に?」と、最初は戸惑いもありました。マネージャーに尋ねたところ、私が昨年まで8年間司会を務めていたNHK Eテレの番組『あしたも晴れ!人生レシピ』を、この講演会の担当の方がご覧になっていたことがきっかけだというお話でした。金曜の夜、人生の後半戦を迎えた世代の方々に向けて、人生をより豊かにするヒントをお届けしてきたあの番組での日々が、今日という「一期一会のご縁」を運んできてくれたのだと感じています。

お仕事というものは、すべてがありがたい「感謝」から始まるものだと、私は考えています。本日は、90分という時間を、自分一人で組み立て、皆さまに何かを持ち帰っていただく。俳優の仕事に例えるなら、脚本も演出も自分で行う一人舞台のようなものです。

緊張で身が引き締まる思いですが、私がこれまで40年以上のキャリアの中で見てきた景色が、皆さまの組織運営や人材育成に少しでもお役に立てましたら幸いです。

コンプレックスが育てた「やりぬく力」

私の芸能界入りのきっかけは、スカウトでした。当時の私は、美術大学の付属校でバドミントン部の部長を務め、部活動と課題に明け暮れる毎日。原宿を歩いていて1日で8人の方にスカウトしていただいたこともありましたが、あの頃は芸能界など「縁がないし怖い世界だ」と思っていました。

高校3年生になり、短大への推薦が決まってアルバイトをしようと考えた時、選択肢は2つでした。「近所のファストフード店に履歴書を持っていくか」それとも「熱心に誘ってくれているモデル事務所の門を叩くか」。親はモデルに大反対でしたが、私自身は「ちょっとトライしてみたい」という気持ちが勝り、最後は兄に付き添ってもらって事務所へ。半ば飛び込むようにモデルの世界へ入りました。

アルバイト感覚でスタートし、21歳で女優の道へ進みましたが、いつしか強いコンプレックスを抱くようになりました。モデルも女優も、どちらも自分から「なり

たい」と熱望して掴み取った場所ではなく、人から勧められ、与えられ、どこか他力本願で築いてきたキャリアだと感じていたからです。「自分には向いていないのではないか」、「基礎が何もない自分に何ができるのか」——、そんなコンプレックスからくる自信のなさが、常に付きまとっていました。

私の最初の大きな仕事は、雑誌『JJ』の撮影でした。実はこれも、本来出演するはずだったモデルさんが体調を崩し、その「穴埋め」として急遽呼ばれた現場だったんです。スカウトの事もそうですが、人生、何がきっかけになるか分かりません。そのピンチヒッターの仕事が評価され、気づけば雑誌の顔である表紙に起用されるようになっていました。

その後、マネージャーの勧めもあってNHK『朝ドラ』ヒロインのオーディションを受け始めましたが、結果は連戦連敗。結果が出るたびに、渋谷にあるNHKの社員食堂で、マネージャーと悔し紛れに「上寿司」を食べるのが恒例になっていましたね(笑)

そして幸運なことに、TBSのポーラテレビ小説『白き牡丹に』で、旧家の令嬢役として主演が決まりました。華やかな女優デビューを飾れた一方で、やはり自分には何の基礎もないということに自信を持てずいました。

半年間のドラマ撮影を終えた後、ぱったりと仕事がない時期も経験しました。その時、私が自分に課したのは、雨の日も風の日も毎日50分間走り続けること。誰が見ているわけでもないその継続が、「私はこれだけはやった」という小さな自信の種を、心の中に植えてくれたのだと思っています。

名優たちの背中に学んだ「プロの矜持」

女優として歩むなかで、素晴らしい先輩方との数々の出会いが私を成長させてくれました。

初舞台となった新橋演舞場での『黒蜥蜴』。共演は坂東玉三郎さん、北大路欣也さんという日本を代

表する役者の方々です。そこでも基礎のない未熟さを思い知らされましたが、演出家の方だけでなく、玉三郎さんも非常に熱心に指導してくださいました。

ある日、玉三郎さんは私にこう仰いました。「賀来ちゃん、新鮮に、フレッシュに、輝いて!」

技術はもちろん大切ですが、瞬発力、その場で放つ輝き、理屈を超えた何かを私に求めてくださった、今でも忘れられない一言です。

この現場で、もう1つ鮮明に覚えているエピソードがあります。私たち若手が玉三郎さんの厳しくも愛あふれる指導を受けていた時、北大路欣也さんがふらりと歩み寄って、「玉さん、僕にも教えてよ」と仰ったのです。その一言で、私たちの緊張がどれほど救われたことか。北大路さんの器の大きさに深く感銘を受け、お二人に憧れながら、私は舞台に立っていました。

ドラマ『七人の女弁護士』で私の父親役を演じてくださった小林桂樹さんも、大切な恩人です。地方ロケの帰り、旅館の皆さんが総出で見送ってくださった時、小林さんは私に「賀来さん、皆さんに手を振りましょう」と仰いました。「僕たちにとってはたくさんの挨拶の中のひとつかもしれない。でも、あの方たちにとっては僕たちが手を振ってくれたという今日の記憶が、一生の宝物として残るかもしれないから」と。この時、私は「自分は責任ある立場を担い、夢を売る仕事をさせていただいているんだ」ということをあらためて実感し、感謝と共に、一人ひとりに心を込めて接する大切さを、深く胸に刻み込みました。

皆さんは『ずっとあなたが好きだった』というドラマを覚えていらっしゃるでしょうか。最高視聴率34.1%を記録し、“冬彦さん現象”と呼ばれるブームを巻き起こした大ヒット作品です。この現場で共演した佐野史郎さんや野際陽子さんからは、役作りの凄まじさを学びました。佐野さんが本番中に高ぶる感情のまま、自らの額をリモコンで叩いて流血しながら芝居を続けた姿や、役の構築のプロセスなど、その演技に圧倒されました。

このドラマは、俳優、スタッフ、ドラマに関わる一人一人の「良いものを作ろう!」という大きな熱量が、現場にあふれていました。全員の強い気持ちが一つの方向に向かうとき、作品は社会現象を巻き起こすほどの力を持ちます。これこそが「人を巻き込む力」ではないでしょうか。

アフガニスタンで出会った不条理と強さ

2003年、私は24時間テレビの企画で戦禍のアフガニスタンを訪れました。

この旅に向かい私が心した事は、`困難な方達を前にして、自分の生活の不便さや疲労で動揺したりしないこと、でした。それは大変失礼だと思っていたからです。

カブールの空港に降り立った瞬間、グレーに霞んだ、すべてが砂に覆われたような世界。まず目にしたのは、ホテルの私の部屋の窓に残る生々しい弾痕……。シャワーからは細々と出る濁った水。そこから旅は始まりました。そして、地雷で足を失った青年、家族を亡くした子どもたち……。日本では想像もできない過酷な現実を、滞在中、これでもかと突きつけられ、私の人生観を大きく変えました。

ある家庭を訪ねた時のことです。家は壁も満足になく、地面はむき出しの土間。そこで出会った少女たちは、目をキラキラさせて「学校の先生になりたい」、「お医者さんになりたい」、「アフガニスタンの役に立ちたい」と夢を語ってくれました。しかし、その傍らでお父さんは「この子たちを学校にはやらない。年寄りと家畜の世話をさせるんだ」と言う。未来ある子どもたちが教育さえ受けられない不条理を目の当たりにし、私は言葉を失いました。

そしてある日のロケの終盤、私は大きな失敗をしました。アメリカの空爆で父を亡くした少女に対し、つい取材班としての欲が出てしまい、「お父さんが生きていたら、何をして遊びたい?」と聞いてしまったので

す。少女の母親から「この子にはもう父親はいないのだから、そんなこと聞かないでください」と激しく叱られました。私は猛省しました。滞在も長くなり、インタビューに慣れてきた私は、相手の痛みに寄り添うことよりも仕事の成果を優先してしまったのです。そんな自分に深く後悔し、土下座をする思いで謝罪しました。

帰国後、しばらくは毎日夜空の月を見ては泣いていました。「この空は確かに続いている。あの過酷な環境にいる彼らも、今、同じ月を見ているのよね」と。今も、思い出すと涙が出ます。アフガニスタンの人々は、苦境にあっても「この国が大好きだ」と言いました。不条理な世界の中でも前を向いて生きる彼らの姿に、切なさと共に、本当の強さを教わりました。

「言葉の温度」が組織を動かす

近年、「パワハラ」や「コミュニケーション不全」など職場の人間関係が問題になっていますが、私は今「言葉の力」を見直すべきだと感じています。

8年間の『あしたも晴れ!人生レシピ』での司会を通じて、私が大切にしてきたのは「優しい言葉、美しい日本語」を使いたいという思いでした。最近は「うざい・やばい」といった言葉が氾濫しています。私が番組で心がけたのは、ゲストの方がスタジオに入られた瞬間に「ここは温かくて優しい場所だ」と感じていただける迎え入れ方、そして誰一人として傷つけない丁寧な発信でした。経営の現場でも、リーダーが発する「言葉の温度」が組織の体温を決め、一人ひとりを動かす力になるのではないかと思います。

フレンチ・コメディの舞台『しあわせの雨傘』に主演した際、私は尊敬する演出家の鶴山仁先生から、それこそ付箋で台本が倍の厚さになるほどの膨大なありがたい「ダメ出し」をいただきました。毎日100個近い修正指示が出るのですが、落ち込みそうになった時、スタッフの方がこう言ってくれました。

「先生の毎日のダメ出しは、賀来さんがそれに応

えているから。賀来さんをもっと良くしたいという先生の思いからです。それにね、僕らスタッフにとっても先生のダメ出しの緊張は同じだからね(笑)」

良い演出家、監督、リーダーの下では、自ずと持続的成長につながっていくと思います。それまでも私は、`学ばせていただきたい、`成長したい、という意志を、演出家の方にお伝えしたいと思っていました。素直な心で向かう姿勢は、物事が正しい方向に行くと信じています。

そして「ユーモア」もとても大切だと思っています。舞台初日の開演直前ギリギリに、先生は「余裕があればやってください」とさらに細かい指示を出されました。私は「先生、余裕はありません」とユーモアを交えて思い切って言ってみました。先生はニヤリと笑って「まあ、いずれやらなきゃいけないんですから」と一言。私は「はい、頑張ります!」と即答しました。緊張感の中にも、チームとしてそんな信頼関係を築けていると感じられる事は、本当に幸せなことです。

リーダーが背中を見せる意味

最後にお話したいのは、北極圏・ノルウェーのスピッツベルゲン島での撮影のことです。氷点下16度という極寒の中、たった一人の日本人を探して歩き回るという過酷な旅でした。

街には人影もなく、カメラは寒さで故障し、体力的にも限界に近い。それでも私は「必ず見つける」と、氷点下の中を走り回ってしらみつぶしに探し続けました。後にスタッフから「賀来さんがあんなに頑張る人だとは思わなかった。現場の士気が上がった」と言っていた時は、少し照れくさくもありましたが嬉しかった。やはり、表方である私が頑張る背中を見せる、示させていただくことによって、周囲のモチベーションが上がると認識していたからです。

そして、そこで見たオーロラ。地平線から虹のように立ち上がり降り注ぐような光の帯は、まるで私達

チームを祝福してくれるかのように長く煌めいていました。みんなで声を上げながら見上げたその光景を、今も鮮明に覚えています。

おわりに：人を育て、この社会を温かく

私が大好きな大谷翔平選手は、インタビューでこう仰っていました。「健康が一番。でも、その健康な体で、どこまで自分をギリギリまで攻められるか」。働き方改革が進む現代ですが、自分の限界に挑戦し、苦勞した経験こそが、後になって代えがたい財産や喜びになる。苦勞は長く喜びは一瞬でも、その一瞬の尊さは計り知れません。

また、親交のあったラグビーの平尾誠二さんは「プレーは責めても人格は責めない」という叱り方の心得を大切にされていました。

今の世の中はどこか殺伐としていますが、私は一人の人のもたらす力の大きさを信じています。例えば、タクシーの運転手さん、コンビニの店員さん、とても感じのいい人に出会ったら、その日一日ハッピーな気持ちになりますよね。一人の人間が、その瞬間の接し方ひとつで、相手を幸せにすることも出来るのです。

経営者の皆さん、どうぞ若い方々を大切に、温かく見守り、そして根気強く育ててあげてください。これからは担う若い方が、自分の仕事や生き方に誇りを持てるように、どうか導いていただきたいです。

皆さんが社員の方々を大切に、良い人材が育てば、必ず良い会社になります。良い会社が増えれば、この社会は、そしてこの国は、もっと温かく、素晴らしい場所になるはずだと、私は思っています。

お年を召した方には敬意を、若い方には修行の場と愛情を。私も今日この温かな場所で、経営者の方に向けた講演という大きな「修行」をさせていただきました。この一期一会の出会いに感謝を込めて。本日は誠にありがとうございました。

(文責：埼玉りそな産業経済振興財団)

埼玉県における産業動向と見通し

埼玉県内産業の先行きはほぼ横ばいで推移する見通しであるが、中東情勢の長期化による影響の拡大が懸念。一部産業では中東情勢の影響がすでに発生

主要産業の動向

埼玉県における産業動向と見通しについて、公表されている県内の統計にもとづき聞き取り調査等を行い、産業天気図を作成した。

埼玉県の1～3月期の産業天気図は、化学、輸送機械、一般機械、建設、小売が「薄日」となる一方、食料品、電気機械、鉄鋼が「小雨」となり、業種によるバラツキがみられた。中東情勢の悪化を受け、原材料の調達に影響が出始めている産業も一部にみられた。

4～6月期については、今年の賃上げが引き続き高い水準になる見通しとなったこともあり、消費の下支えが期待されることなどから、ほぼ横ばいで推移する見通し。ただし、中東情勢の解決が長期化する場合には、原材料調達難や物価上昇圧力の高まりによる影響拡大が懸念される。

主要産業の動向は、以下の通り。

- 食料品**の生産は、前年を下回る水準で推移している。先行きは現状から横ばいで推移が見込まれる。
- 化学**の生産は、堅調さを維持している。先行きは不透明感が強く、やや弱含むとみられる。
- 輸送機械**の生産は、前年を上回る水準で推移している。先行きは現状から横ばいで推移が見込まれる。
- 一般機械**の生産は、堅調に推移している。先行きは引き続き堅調さを維持するとみられる。
- 電気機械**の生産は、減少が続いている。先行きも現状程度の低調な推移が見込まれる。

- 鉄鋼**の生産は、前年を下回る動きが続いている。先行きは現状から横ばいで推移が見込まれる。
- 建設**は、公共・民間工事ともに手持ちの工事量は多く、繁忙な動きが続いている。先行きも現状同様な動きが続くとみられる。
- 小売**の売上は、商品単価の値上げにより前年を上回ったとみられる。先行きは多品目による値上げの実施から売上は増加するとみられる。

参考

①日本経済の現状

内閣府の本年3月の「月例経済報告」によると、「景気は緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」としている。

また、内閣府によると昨年10～12月期の四半期別実質GDP成長率は前期比年率換算+1.3%と、2四半期ぶりにプラス成長となった。

②埼玉県経済の現状

埼玉県によると、「県経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。」としている。当財団が県内企業を対象に四半期ごとに実施している、企業経営に関する直近1月のアンケート調査によると、自社の業況について「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた割合を差し引いたBSIは+23と、20四半期(5年)連続で「良い」と回答する企業が多い状態が続く、企業の業況について総じて好調さがうかがえる結果となっている。

産業天気図

天気図の見方



	現状 (1～3月)	先行き (4～6月)		現状 (1～3月)	先行き (4～6月)
食料品			電気機械		
化学			鉄鋼		
輸送機械			建設		
一般機械			小売		

食料品

現 状：前年を下回る水準で推移している
 先行き：現状から横ばいでの推移が見込まれる

現状
(1~3月)



先行き
(4~6月)



食料品の生産の現状は前年を下回る水準で推移している。生産指数は2024年7-9月期より6四半期連続で前年比マイナスが続き、直近2025年10-12月期は前年比▲6.4%と大きく低下した。足元を含め弱い動きが続いており、マイナス幅も拡大している。

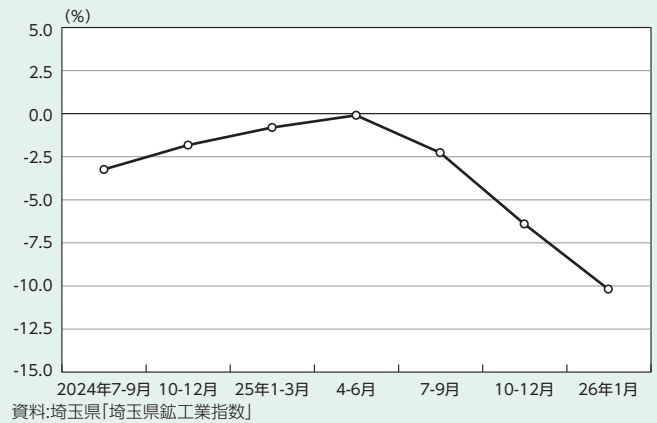
原材料価格の上昇が長期化し、食料品は製品値上げが続いている。2025年後半にさらなる円安水準が定着したことで、輸入資材の高騰を招き、食料品の物価上昇は再燃した。

製造業者の生産コストが高止まりするなか、製品値上げにより、これまでも生活防衛色を強めてきた家計では、嗜好品を中心に一層の買い控えがみられる。埼玉県で主要な生産品目であるアイスクリームや氷菓、他には炭酸飲料、コーヒー飲料などが出荷と生産を押し下げている。

先行きも持ち直しの動きは限定的で、現状から横ばいとなる見通しだ。中東情勢の影響により、工場のボイラーなどの燃料が不足する懸念や、肥料等の輸入停

滞により、今夏の原材料調達を困難にする恐れがある。工場稼働が困難になる局面も想定され、生産を不安定化させるとみられている。さらなる円安傾向による一段の輸入資材の高騰が不安視されるなど、懸念材料は多い。賃上げ機運は高まっており、家計の所得環境の改善を通して、食料品需要の持ち直しが期待されるが、生産は予断を許さない状況だ。

●食料品の生産指数(前年比)の推移(埼玉県)



化学

現 状：堅調さを維持している
 先行き：不透明感が強く、やや弱含むとみられる

現状
(1~3月)



先行き
(4~6月)



化学の生産の現状は堅調さを維持している。生産指数は2025年4-6月期が前年比+14.1%、7-9月期が同▲9.3%、10-12月期が同+4.7%と振れを伴うものの、2024年より生産水準を切り上げてきた。

約6割を占める医薬品は出荷が増加した。少雨による乾燥などの影響で、今シーズンはインフルエンザ感染で2026年1-3月期に二度目のピークが生じ、例年より流行が拡大した。さらに暖冬で花粉の飛散が1週間程度早まり、医薬品需要が例年より集中したことで、県内の出荷が増加し、生産を押し上げたとみられる。約1割を占める化粧品は、乾燥した気候により基礎化粧品の出荷が伸びた一方、高級品は家計の節約志向の広まりから、振るわなかった。塗料やウレタンフォームなど建築資材向け製品は、人手不足で依然として建築工事の進捗が鈍く、生産・出荷とも不安定な状況が続く。品目ごとに動きは異なるが、医薬品の堅調さが全体をけん引した。

先行きは不透明感が強く、やや弱含むとみられる。

中東情勢の影響で原油由来の原料や、工場の操業に必要な重油の調達に懸念があり、価格変動や材料の入手難など調達面にもすでに影響が出始めている。建築資材向け製品の先行きは不透明で、化粧品も家計の節約志向が引き続き重荷となる。一段の物価上昇への懸念が続く中、生産は伸び悩みが生じる可能性がある。

●化学の生産指数(前年比)の推移(埼玉県)



輸送機械

現 状：前年を上回る水準で推移している
先行き：現状から横ばいでの推移が見込まれる

現状
(1~3月)



先行き
(4~6月)



全国の乗用車販売台数（軽を含む）は、一部メーカーの認証不正の影響緩和から、昨年1~3月期以降前年比で増加していたが、7~9月期にマイナスに転じ、本年1~3月期も前年を下回ったとみられる。

生産動向をみると、県内の輸送機械（乗用車、トラック、自動車部品、航空機用部品等を含む）の生産指数は、認証不正の影響緩和に加え、新型車の投入もあり、昨年1~3月期以降増加基調が続き、本年1~3月期も前年を上回ったとみられる。なお、米国政権の関税政策により当初生産量の落ち込みが危惧されたが、完成車メーカーの海外生産が進んでいることから、県内の輸送機械の生産量自体の落ち込みはみられていない。

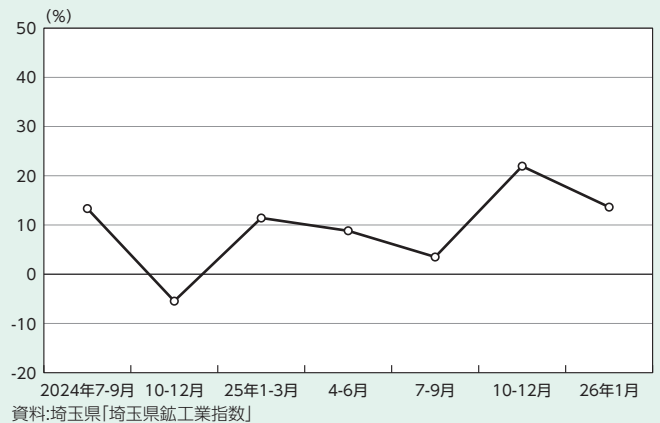
先行きの生産は、新型車発売も見込まれることから、当面は現状から横ばいでの推移が見込まれる。ただし、中東情勢の影響が長期化する場合には、物価上昇が消費者の購買意欲を押し下げ、生産が前年を大きく下回るリスクがある。

1~3月期のトラックの生産は前年並みで推移した模

様。先行きは、EC市場の拡大や都心部における再開発が下支えとなる一方、物流、建設分野の人手不足や景気の先行き不透明感から、横ばい圏内での推移が見込まれる。

部品メーカーの1~3月期の生産は完成車メーカーと同様に推移したとみられ、先行きも横ばいが予想される。

●輸送機械の生産指数(前年比)の推移(埼玉県)



一般機械

現 状：堅調に推移している
先行き：堅調さを維持するとみられる

現状
(1~3月)



先行き
(4~6月)



一般機械（汎用機械+生産用機械+業務用機械）の生産の現状は、堅調に推移している。生産指数は2025年4-6月期が前年比▲2.0%、7-9月期が同▲2.0%、10-12月期が同+7.2%と推移しており、一時は足踏みがみられたものの、持ち直しに転じ、堅調さを取り戻している。

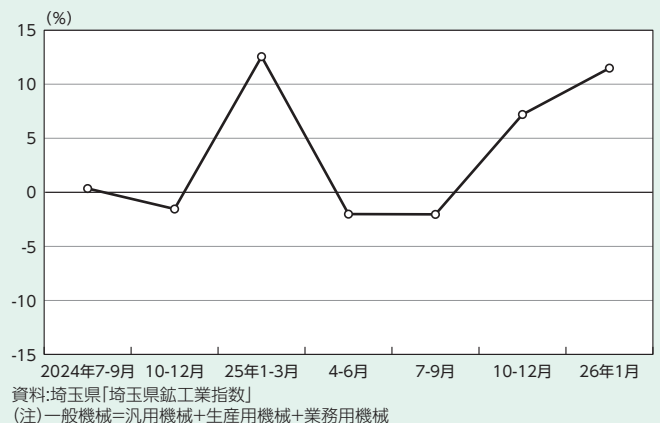
米国政権の関税政策による不確実性の増大により、一時は企業の設備投資に先送りもみられたが、現在はその影響が和らぐとの見方が広がり、汎用機械、業務用機械分野で持ち直しの動きにつながっている。また国内の人手不足を背景とした合理化投資に向けた需要により、生産用機械分野は底堅く推移している。総じて一般機械は前年度に足踏みがみられたものの、現状は概ね堅調に推移している。

先行きは、引き続き堅調さを維持するとみられる。海外需要は半導体製造装置関連を中心に底堅く、国内需要も企業の設備投資計画が堅調さを保っている。原材料高や電力費などの製造コスト高は、依然として課

題となるものの、受注や引き合いは強く、堅調に推移するとみられる。

中東情勢の影響により、機械製造に用いるカーボンや樹脂関連の原材料に、値上げや入手難など調達面に影響がはじめており、今後の生産に向けて懸念材料となっている。影響が長引くことで、堅調さを押し下げる可能性がある。

●一般機械の生産指数(前年比)の推移(埼玉県)



電気機械

現 状：減少が続いている
先行き：現状程度の低調な推移が見込まれる



県内の電気機械（電子部品・デバイス+電気機械+情報通信機械）の生産指数は、2025年7~9月期前年比+1.3%、10~12月期同▲6.8%、2026年1~3月期はマイナスとなった模様。

電子部品・デバイスの生産は、2025年7~9月期前年比▲1.8%、10~12月期同▲1.2%、2026年1~3月期もマイナスとなった模様。集積回路や電子回路基板などで大きな減少が続いていたが、減少幅は小さくなった。

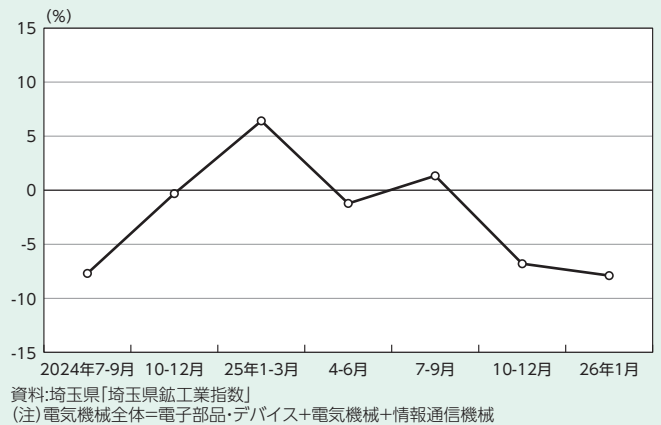
電気機械の生産は、2025年7~9月期前年比▲2.8%、10~12月期同▲9.0%、2026年1~3月期もマイナスとなった模様。県内で生産される電気機械は、産業機械などに関連する装置類が多い。産業機械向けの需要は持ち直しているが、足元やや弱い動きとなっている。

情報通信機器は、2025年7~9月期前年比+11.1%、10~12月期同▲7.1%、2026年1~3月期はほぼ横ばいの模様。

電気機械の生産は、県外への生産移転などにより減少してきたが、こうした動きは落ち着いてきている。ただ、電気機械における埼玉県の立地優位性は小さくなっており、生産は減少傾向が続いている。

先行きは、引き続き現状程度の低調な動きが続くとみられ、中東情勢によっては景気の減速による影響を受ける懸念がある。

●電気機械全体の生産指数(前年比)の推移(埼玉県)



鉄 鋼

現 状：前年を下回る動きが続いている
先行き：現状から横ばいでの推移が見込まれる



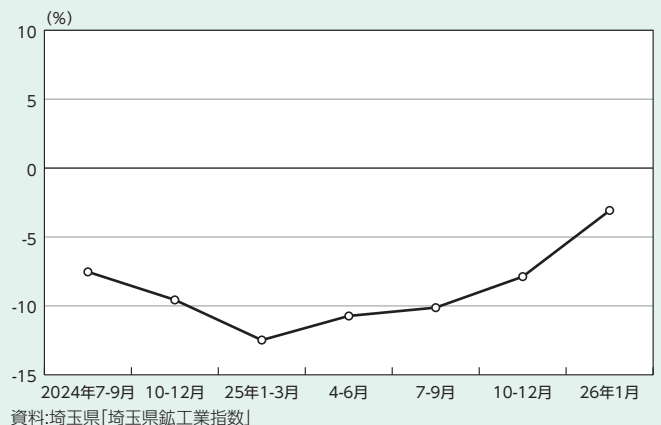
鉄鋼の生産は前年を下回る動きが続き、生産指数は12四半期(3年)連続で前年割れとなっている。直近の2025年10~12月期は前年比▲7.9%、2026年1月も同▲3.1%と弱い状況が続く。

棒鋼やH型鋼など建築鋼材は、建築現場の人手不足による工事進捗の停滞により、引き続き出荷・生産ともに伸び悩み、在庫も高水準にある。重機や産業用機械向けの鋳物も、米国の関税政策による不確実性は緩和したもの、受注引き合いは改善せず横ばい圏にとどまっている。中国経済の低迷を背景とした受注難は底打ちしたもの、回復の勢いは弱い。生産コスト面では、県内で価格転嫁が進む一方、電気代の上昇が操業コストを押し上げている。

先行きは現状から横ばいでの推移が見込まれる。中国経済の持ち直しの遅れなどの海外経済の停滞、国内では建築現場の慢性的な人手不足を要因に、工事進捗も現状維持となる見通しがあり、鉄鋼の生産は現状の横ばい圏での水準に留まるとみられる。

本年2月から主要な原材料の鉄スクラップの価格が一段上昇した。脱炭素の流れによる大手鉄鋼メーカーの電炉転換の影響などにより、鉄スクラップに需要が集中し始めている。県内は電炉業者が多く、中東情勢の影響による重油調達難の影響は限定的だが、影響長期化による電気代の先高観はある。先行きでさらに採算の厳しさは増すとみられている。

●鉄鋼の生産指数(前年比)の推移(埼玉県)



建設

現状：公共・民間工事ともに手持ちの工事量は多く、
 繁忙な動きが続いている
 先行き：現状同様な動きが続くとみられる



公共工事：県内の公共工事請負金額は2025年7~9月期前年比+21.8%、10~12月期同+2.3%、2026年1~3月期同▲4.2%とやや振れのある動きとなっているが、2025年4月~2026年3月の累計は同+5.8%と好調な推移となっている。

公共工事は受注残が多く、足元の工事量も高水準で安定している。人手不足から人件費の上昇が続くなか、請負価格への転嫁は順調で、収益面も良好である。公共工事の内容は、建物をはじめ、河川、橋梁、道路などの老朽化に対応する改修・補修工事が多い。

先行きは、老朽化対策に加え、災害対策のための工事も増加すると期待されており、繁忙な状況が続くとみられる。ただ、従業員の高齢化や若い人が集まらないことなど、人手不足の問題は深刻で、現状手一杯で、新たな受注が難しいとするところもある。

民間工事：県内の非居住用の建築着工床面積は、2025年7~9月期前年比▲45.9%、10~12月期同▲10.9%、2026年1~2月期同+41.0%と着工ベースでは振れの大きな動きとなっている。公共工事同様、手持ちの工事は多く、繁忙状態が続いており、人手不足の問題から、工事の遅れもみられる。

用途別ではウェイトの高い運輸業用は、一時の勢いは鈍化しているものの堅調に推移。製造業用は、建物の改修など更新需要などから、足元大きな増加となった。商業用、サービス業用は、持ち直している。宿泊・飲食サービス用、医療・福祉用は、低調な動き。サービス

業用はこのところ増加傾向が続いている。

先行きは、当面、工事量、価格面とも現状程度で推移する見込み。都内では再開発など大型の工事が続き大手、都内の建設業者は繁忙状況が続いており、県内では地元業者中心の受注となっている。業界全体で人手不足の問題が深刻化し、工事の遅れや着工できないなどの問題も出ている。

住宅：県内の住宅着工戸数は2025年7~9月期前年比+6.8%、10~12月期同▲4.7%、2026年1~2月期同+6.5%と2025年4月に建築基準法の改正があったこともありやや振れのある動きとなっている。

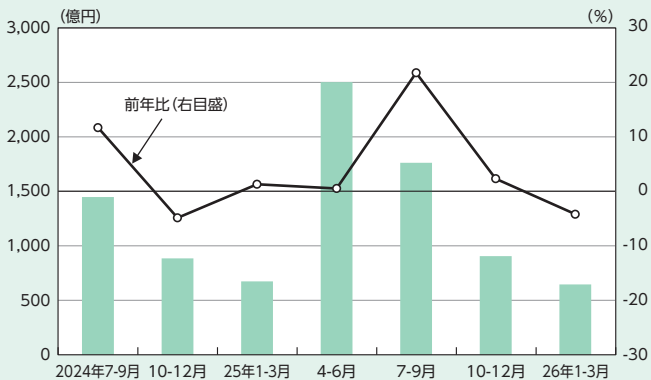
マンションは、適地不足や土地価格、建築費の高騰による販売価格の上昇から、供給戸数が絞られている。販売面では、さいたま市内の物件などは販売が好調だが、場所による差も出てきている様子で、価格の高騰から在庫が増えている地域もある。

戸建の分譲住宅は、建築コストの上昇による物件価格の上昇に加え、物価の上昇、金利の動向から購入に慎重な動きがみられ、低調な動きとなっている。

貸家は、分譲住宅の価格が上昇していることや、投資需要などから好調な動きが続いている。持家については、低調な動きが続いている。

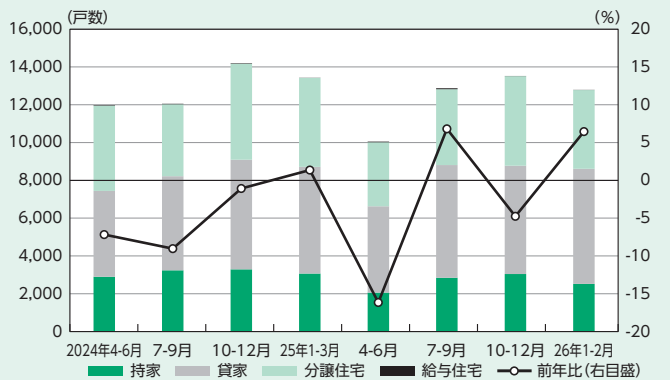
先行きは住宅全般に、物件価格の上昇や金利動向、人手不足による供給制約などが懸念されており、貸家は堅調なものの、持ち家、分譲住宅ではやや低調に推移するとみられる。

●公共工事請負金額(前年比)の推移(埼玉県)



資料:東日本建設業保証(株)

●新設住宅着工戸数の推移(埼玉県)



資料:国土交通省「建築着工統計調査」
 (注)直近の2026年1-2月の利用関係別着工戸数は、1-2月の値を1.5倍にして表示

小売

現 状：商品単価の値上げにより前年を上回ったとみられる
 先行き：多品目による商品の値上げの実施から、売上高は増加するとみられる

現状
(1~3月)



先行き
(4~6月)



百貨店：1~3月期の売上は前年並みとなったとみられる。来店客数においても前年並みだった模様。

コロナ前の2019年の売上には引き続き届いていない状況が続いている。

品目別では、主力の衣料品は前年を上回った模様。初売り、冬のセールともに動きが良く、コートなど防寒衣料にも動きがみられた。一方、卒業、入学などのオケージョン需要といわれる衣料は苦戦した。

食料品は前年並みとなった模様。生鮮食料品は苦戦したが、惣菜は前年を上回っている。菓子類は前年を上回る動きとなった。バレンタインデーは自身のために購入する人が増えており、チョコレートの祭典のような催しに変化してきている。

宝飾品、時計など高額品は前年を上回った。また、外商の売上も伸長しており、富裕層への営業・サービスの注力が増している。レストラン、喫茶などは前年並みとなった。

物産展や、イベントなど企画性のある催事は、SNSでのイベント告知や、インフルエンサーの活用で集客数を伸ばす工夫をしているところが多い。

先行きは、実質賃金の上昇による消費マインドの向上が期待されているが、中東情勢の緊迫化による経済への悪影響が懸念される。

スーパー：1~3月期の売上は前年を上回ったとみられる。コロナ前の2019年比でも増加している。ただ、消費者の節約志向の高まりから1人当たりの買い上げ点数は減少しており、多品目にわたる商品の単価上昇が

売上に寄与している。

品目別では、主力の食料品は前年を上回った。昨年高騰した青果の価格が下がり、農産物の売上高は前年を下回ったが、米は一時の高騰から落ち着いたものの、比較的高い状況にあり、売上は前年並みとなった。惣菜は前年を上回る売上となり、一般食品も単価の上昇から売上高は増加した。

衣料品は引き続き減少傾向が続いている。

先行きは、多品目にわたる商品で値上げが実施されるため、売上高は増加するとみられる。ただ、原油価格の高騰からインフレが進めば、消費者の購買意欲の低下が懸念される。

コンビニエンスストア：1~3月期のコンビニの売上は、前年を上回ったとみられる。商品単価が上昇していることに加え、中華まん、カウンターコーヒー、ホット飲料、ソフトドリンクが好調だった。

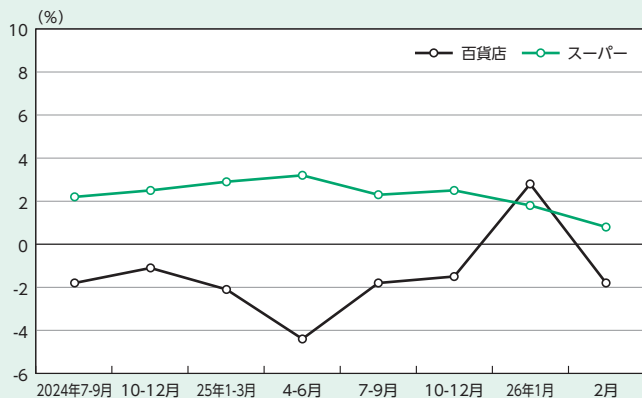
埼玉県のコンビニの店舗数は減少が続いていたが昨年1月に増加に転じ、その後は増加傾向にある。

先行きは、緩やかな売上の増加が予想される。

ドラッグストア：1~3月期の売上は前年を上回ったとみられる。商品単価が上がっていることに加え、花粉症対策の点鼻薬、目薬が伸びたほか、2月の気温が高めだったことから飲料品も好調だった。店舗数も増加している。

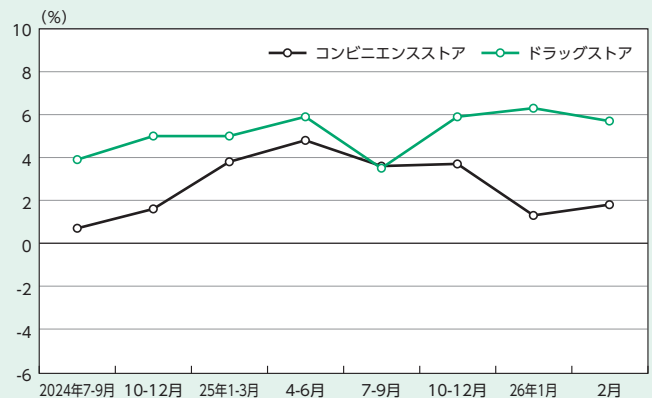
先行きは、調剤、食料品、ヘルスケア用品と幅広い品揃えに加え手ごろな価格であることから、成長期待は大きく、売上は増加が続くとみられる。

●百貨店・スーパー販売額(前年比)の推移(埼玉県、既存店)



資料:経済産業省「商業動態統計」

●コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額(前年比)の推移(埼玉県、全店)



資料:経済産業省「商業動態統計」

埼玉県内設備投資動向調査

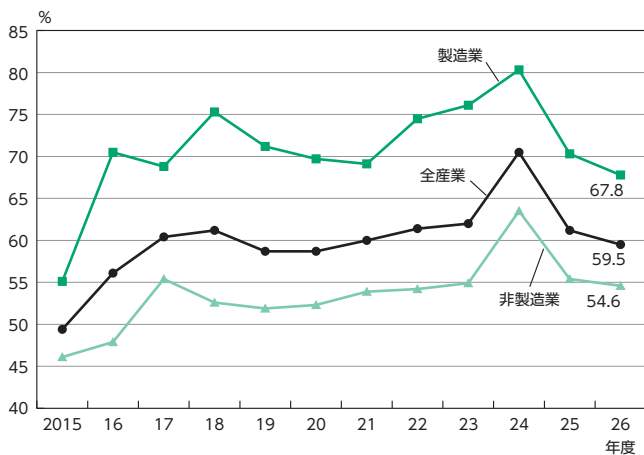
2026年度の設備投資は「計画有り」が59.5%、前年を下回る

✓ 設備投資計画の有無

2026年度に設備投資の「計画有り」とした企業割合は、前年度調査に比べ1.7ポイント減少し、59.5%となった。2年連続で減少となったものの減少幅は小幅であり、設備投資を計画している企業割合は約6割と高い水準にあることから、2026年度の県内企業の設備投資は堅調さを維持していくとみられる。

業種別にみると、「計画有り」とした企業は、製造業が67.8%（前年比▲2.5ポイント）、非製造業54.6%（同▲0.8ポイント）となった。両業種ともに2年連続で減少となったが、製造業で設備投資の「計画有り」とする企業は約7割と引き続き高い水準にあり、また非製造業で「計画有り」は前年並みの5割超を維持していることから、両業種ともに2026年度の設備投資は堅調に推移していくとみられる。

● 設備投資「計画有り」の企業割合の推移



※毎年1月調査の計数

✓ 設備投資計画額

2026年度の設備投資計画額（回答企業数231社）は、当該企業の2025年度実績見込みに対して▲6.3%となった。

業種別にみると、製造業は同▲0.4%で前年並みとなり、非製造業は同▲7.8%で前年から減少となった。

なお、1月調査では例年、投資額が確定していない企業が多く、2026年度の設備投資額は今後、増額修正

される可能性がある。

● 設備投資計画額

(単位:社、百万円、%)

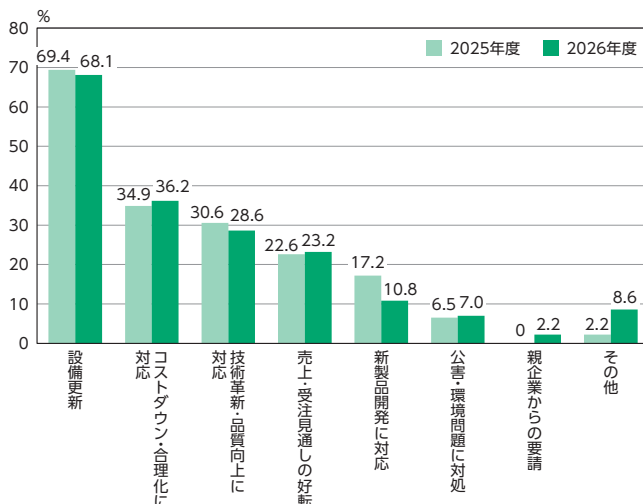
	回答企業数	2025年度実績見込み	2026年度計画	
			計画	前年度比
全産業	231	59,486	55,709	▲6.3
製造業	93	11,598	11,552	▲0.4
非製造業	138	47,888	44,157	▲7.8

✓ 設備投資理由

2026年度に設備投資の「計画有り」とした企業において、設備投資を行う理由（複数回答）を尋ねたところ、「設備更新」（68.1%）が最も多く、以下「コストダウン・合理化に対応」（36.2%）、「技術革新・品質向上に対応」（28.6%）、「売上・受注見通しの好転」（23.2%）、「新製品開発に対応」（10.8%）、「公害・環境問題に対処」（7.0%）の順となった。

既存設備の更新や建物の維持・補修などにあたる「設備更新」が例年同様に最も多い。次いで多い「コストダウン・合理化に対応」は、人手不足や人件費上昇が経営課題となる企業が増えるなか、生産工程の合理化や業務のIT化・デジタル化で対応する企業が多いためとみられる。

● 設備投資理由



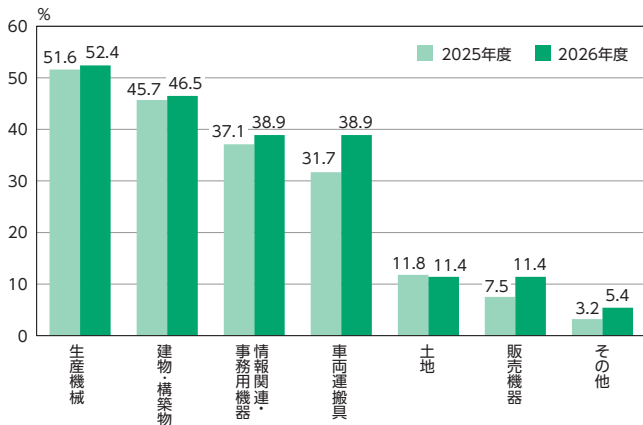
ものの堅調さを維持

✓ 設備投資対象物件

2026年度に設備投資の「計画有り」とした企業において、設備投資の対象物件を尋ねたところ（複数回答）、「生産機械」（52.4%）を挙げる企業が最も多く、以下「建物・構築物」（46.5%）、「情報関連・事務用機器」、「車両運搬具」（ともに38.9%）、「土地」、「販売機器」（ともに11.4%）の順となった。例年同様に「生産機械」、次いで「建物・構築物」への投資が多くなっている。

前年調査との比較では「車両運搬具」が+7.2ポイントと、上昇が目立った。

● 設備投資対象物件

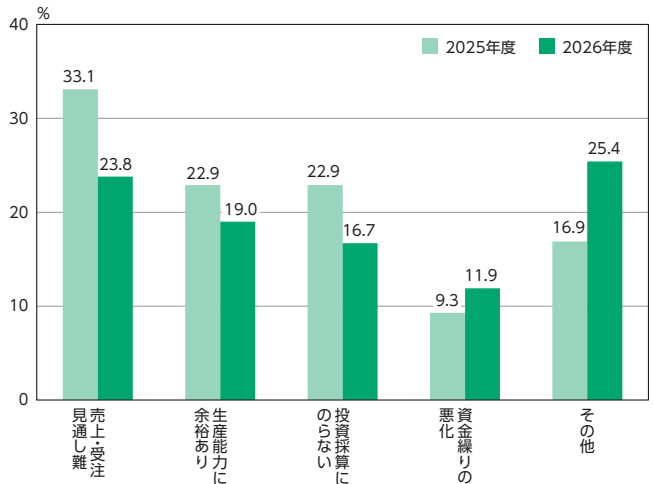


✓ 設備投資を計画していない理由

2026年度に設備投資を「計画していない」企業においてその理由（複数回答）を尋ねたところ、最も多かったのは「売上・受注見通し難」（23.8%）となった。人件費の上昇や原材料価格の高騰、金利の上昇など先行きの収益を圧迫する不安材料は多く、先行きの見通しが難しいことから設備投資を見送る企業が多い。次いで多かったのは「生産能力に余裕あり」（19.0%）で、「投資採算にのらない」（16.7%）「資金繰りの悪化」（11.9%）と続いた。

前年調査との比較では「売上・受注見通し難」が▲9.3ポイントと減少したほか、「投資採算にのらない」が▲6.2ポイント、「生産能力に余裕あり」が▲3.9ポイントそれぞれ減少した。

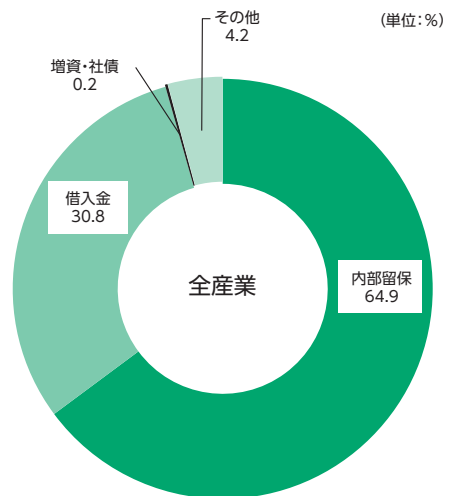
● 設備投資を計画していない理由



✓ 資金調達方法

2026年度の設備投資の資金調達方法（比率）をみると、「内部留保」が64.9%（前年比+1.4ポイント）、「借入金」が30.8%（同▲1.8ポイント）、「増資・社債」が0.2%（同▲1.1ポイント）となった。設備投資資金は手元資金で賄うところが引き続き多く、「内部留保」が高い割合を占めた。（辻和）

● 資金調達方法



2026年1月実施。対象企業数1,032社、回答企業数311社、回答率30.1%。

県内経済の動き

概況 埼玉県の景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに

景気動向指数 下方への局面変化を示している

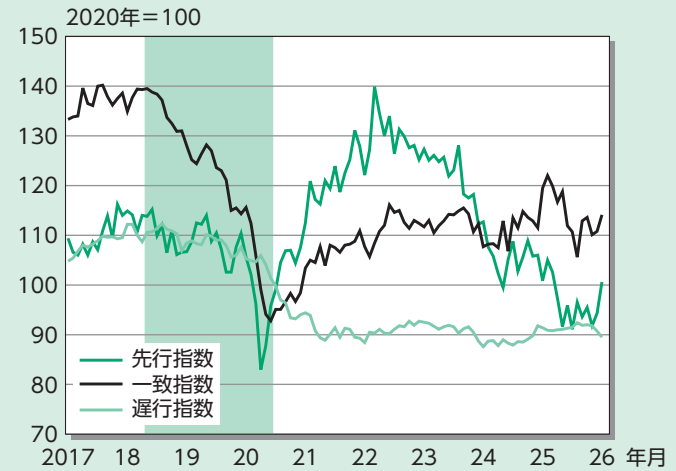
1月のCI(コンポジット・インデックス)は、先行指数: 100.6(前月比+6.3ポイント)、一致指数: 114.1(同+3.3ポイント)、遅行指数: 89.5(同▲1.2ポイント)となった。

先行指数は2カ月連続の上昇となった。

一致指数は2カ月連続の上昇となった。基調判断となる3カ月後方移動平均は、前月比+0.17ポイントと、2カ月ぶりの上昇となった。埼玉県は、景気の基調判断を6カ月連続で「下方への局面変化を示している」としている。

遅行指数は3カ月連続の下降となった。

景気動向指数の推移



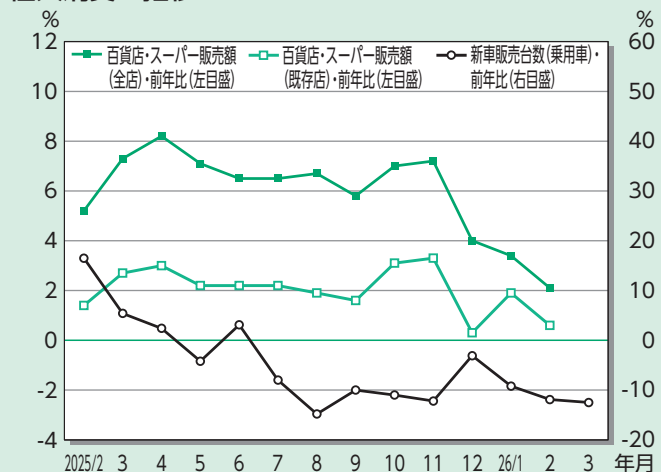
資料:埼玉県 (注)網掛け部分は埼玉県の景気後退期

個人消費 百貨店・スーパー販売額は16カ月連続で増加

2月の百貨店・スーパー販売額は1,180億円、前年比+0.6%(既存店)と16カ月連続で前年を上回った。業態別では、百貨店(同▲1.8%)は減少したが、スーパー(同+0.8%)は増加した。新設店を含む全店ベースの販売額は同+2.1%と増加した。

3月の新車販売台数(乗用車)は13,108台、前年比▲12.5%と9カ月連続で減少した。車種別では普通乗用車が9,117台(同▲14.2%)、小型乗用車は3,991台(同▲8.4%)だった。

個人消費の推移



資料:経済産業省、日本自動車販売協会連合会

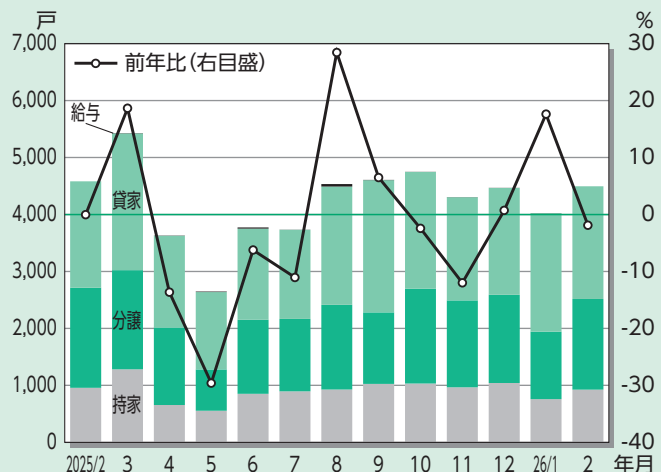
住宅 3カ月ぶりに前年を下回る

2月の新設住宅着戸数は4,496戸となり、前年比▲1.9%と3カ月ぶりに前年を下回った。

利用関係別にみると、貸家が1,978戸(同+5.8%)と3カ月連続で増加したものの、持家が925戸(同▲3.3%)と11カ月連続で、分譲が1,593戸(同▲9.3%)と6カ月連続で減少した。

分譲住宅は、戸建てが1,069戸(同+3.8%)と3カ月ぶりに増加したものの、マンションが524戸(同▲26.9%)と3カ月ぶりに減少した。

新設住宅着戸数の推移



資料:国土交通省

持ち直している

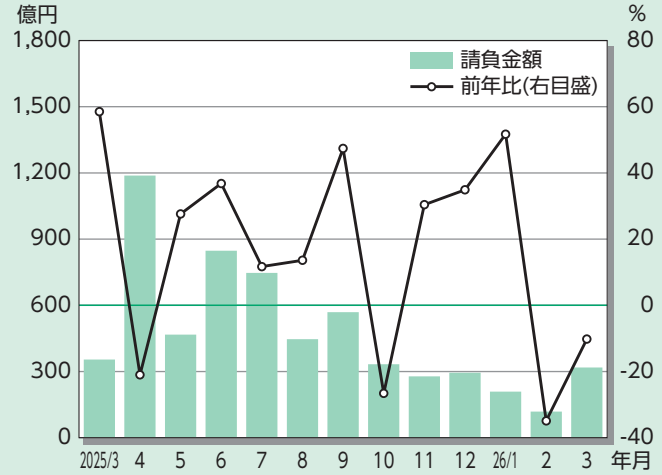
公共工事 2カ月連続で前年を下回る

3月の公共工事請負金額は318億円、前年比▲10.2%と2カ月連続で前年を下回った。2025年4～2026年3月の累計は、同+5.8%と前年を上回っている。

発注者別では、国（同+416.0%）と独立行政法人等（同+56.7%）が増加したが、県（同▲15.3%）、市町村（同▲49.4%）は減少した。

なお、3月の請負件数は326件（同+22.6%）と前年を上回っている。

公共工事請負金額の推移



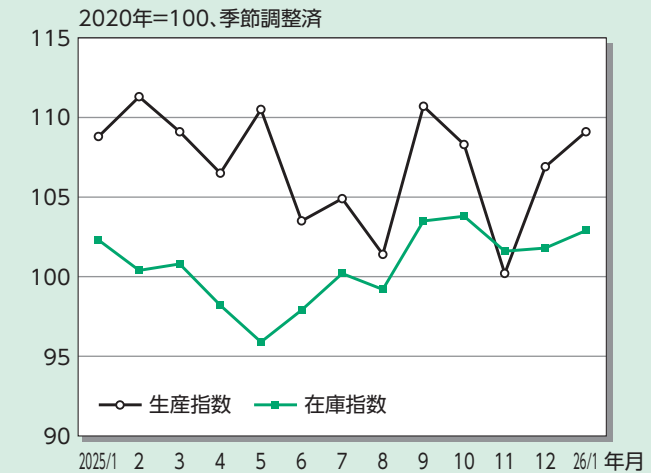
資料:東日本建設業保証(株)

生産 2カ月連続で増加

1月の鉱工業指数をみると、生産指数は109.1、前月比+2.1%と2カ月連続で増加した。業種別では、輸送機械、生産用機械、食料品など13業種が増加したものの、業務用機械、印刷、電子部品・デバイスなど10業種が減少した。

在庫指数は102.9、前月比+1.1%と2カ月連続で増加した。業種別では、情報通信機械、生産用機械、食料品など5業種が増加したものの、プラスチック製品、電気機械、非鉄金属など16業種が減少した。

鉱工業指数の推移



資料:埼玉県

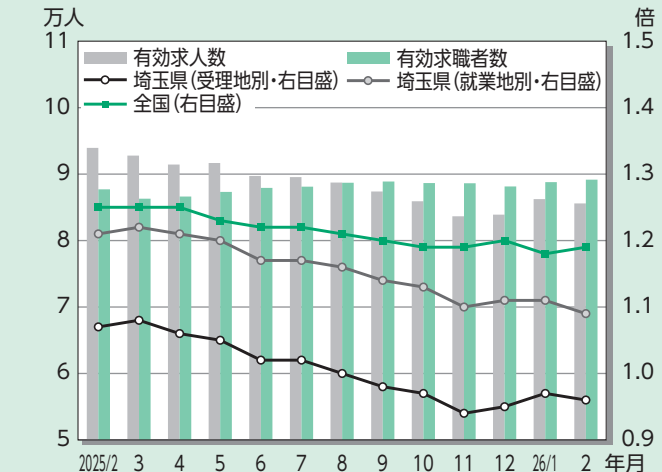
雇用 有効求人倍率は前月から下降

2月の受理地別有効求人倍率は、前月から0.01ポイント下降の0.96倍となった。

有効求職者数は89,157人（前月比+0.4%）と、2カ月連続で前月を上回るなか、有効求人数が85,580人（同▲0.8%）と3カ月ぶりに前月を下回った。新規求人倍率は、前月から0.02ポイント上昇の1.70倍となっている。

なお、2月の就業地別有効求人倍率は、前月から0.02ポイント下降の1.09倍であった。

有効求人倍率の推移



資料:埼玉県労働局 (注1)使用している値は季節調整値 (注2)就業地別有効求人倍率は、埼玉県内を就業地とする、県外での受理分を含めた求人数で算出された参考値

月次経済指標

	鉱工業生産指数(季調値)				鉱工業在庫指数(季調値)				建築着工床面積(非居住用)			
	埼玉県		全国		埼玉県		全国		埼玉県		全国	
	2020年=100	前月比(%)	2020年=100	前月比(%)	2020年=100	前月比(%)	2020年=100	前月比(%)	1,000㎡	前年比(%)	1,000㎡	前年比(%)
2022年	105.1	0.8	105.3	▲ 0.1	96.9	0.8	101.2	2.7	2,454	▲ 16.2	47,203	▲ 2.6
2023年	105.9	0.8	103.9	▲ 1.3	98.5	1.7	100.7	▲ 0.5	1,974	▲ 19.6	43,448	▲ 8.0
2024年	105.3	▲ 0.6	101.2	▲ 2.6	102.0	3.6	98.8	▲ 1.9	2,144	8.6	39,215	▲ 9.7
2025年	106.8	1.4	100.9	▲ 0.3	101.5	▲ 0.5	96.0	▲ 2.8	1,818	▲ 15.2	36,476	▲ 7.0
25年 1月	108.8	7.7	101.9	0.9	102.3	0.0	102.1	1.0	83	▲ 39.6	2,487	▲ 23.9
2月	111.3	2.3	102.0	0.1	100.4	▲ 1.9	101.6	▲ 0.5	326	178.1	3,181	2.5
3月	109.1	▲ 2.0	101.4	▲ 0.6	100.8	0.4	101.7	0.1	172	7.1	3,485	7.5
4月	106.5	▲ 2.4	100.5	▲ 0.9	98.2	▲ 2.6	101.1	▲ 0.6	160	14.9	4,085	0.9
5月	110.5	3.8	101.8	1.3	95.9	▲ 2.3	100.0	▲ 1.1	80	▲ 41.1	3,531	22.8
6月	103.5	▲ 6.3	101.5	▲ 0.3	97.9	2.1	99.7	▲ 0.3	110	▲ 18.5	2,922	▲ 13.9
7月	104.9	1.4	100.5	▲ 1.0	100.2	2.3	100.1	0.4	116	▲ 42.4	2,612	▲ 20.7
8月	101.4	▲ 3.3	99.2	▲ 1.3	99.2	▲ 1.0	99.5	▲ 0.6	110	▲ 59.9	2,578	▲ 15.6
9月	110.7	9.2	101.0	1.8	103.5	4.3	99.8	0.3	218	▲ 36.9	3,379	▲ 3.1
10月	108.3	▲ 2.2	101.6	0.6	103.8	0.3	99.9	0.1	252	125.7	3,093	▲ 8.0
11月	100.2	▲ 7.5	99.6	▲ 2.0	101.6	▲ 2.1	98.0	▲ 1.9	142	23.5	2,360	▲ 25.1
12月	106.9	6.7	100.2	0.6	101.8	0.2	98.6	0.6	50	▲ 81.7	2,761	▲ 5.9
26年 1月	109.1	2.1	104.5	4.3	102.9	1.1	97.8	▲ 0.8	153	84.0	2,566	3.2
2月			102.4	▲ 2.0			98.1	0.3	81	▲ 75.1	2,833	▲ 11.0
3月												
資料出所	埼玉県		経済産業省		埼玉県		経済産業省		国土交通省			

●鉱工業在庫指数の年の数値は年末値

	新設住宅着工戸数				所定外労働時間(製造業)				常用雇用指数			
	埼玉県		全国		埼玉県		全国		埼玉県		全国	
	戸	前年比(%)	戸	前年比(%)	時間	前年比(%)	時間	前年比(%)	2020年=100	前年比(%)	2020年=100	前年比(%)
2022年	52,138	4.0	859,529	0.4	15.0	11.8	16.0	4.3	99.0	0.1	99.7	▲ 0.6
2023年	53,228	2.1	819,623	▲ 4.6	15.4	2.3	15.2	▲ 5.3	99.2	0.2	100.4	0.8
2024年	51,488	▲ 3.3	792,195	▲ 3.3	14.5	▲ 4.5	14.6	▲ 3.5	99.3	0.1	101.6	1.2
2025年	49,879	▲ 3.1	740,667	▲ 6.5	14.1	▲ 2.8	14.8	1.6	98.6	▲ 0.7	102.5	0.9
25年 1月	3,422	▲ 16.4	56,134	▲ 4.6	13.2	▲ 1.5	13.9	3.0	98.5	▲ 0.9	101.8	1.1
2月	4,582	▲ 0.0	60,583	2.4	13.3	▲ 6.3	15.0	2.7	98.4	▲ 0.9	101.6	1.0
3月	5,428	18.6	89,802	39.6	14.3	▲ 4.7	15.1	1.3	97.7	▲ 1.3	100.9	0.9
4月	3,630	▲ 13.6	56,188	▲ 26.6	14.5	▲ 5.8	15.1	3.4	98.9	▲ 0.9	102.7	1.1
5月	2,647	▲ 29.6	43,237	▲ 34.4	13.2	▲ 2.3	13.9	2.2	99.0	▲ 0.6	103.0	1.1
6月	3,772	▲ 6.2	55,956	▲ 15.6	14.2	▲ 1.5	14.5	1.4	99.0	▲ 0.9	103.1	1.0
7月	3,734	▲ 11.1	61,409	▲ 9.7	14.7	▲ 3.9	15.1	1.3	99.3	0.0	103.1	1.0
8月	4,534	28.4	60,275	▲ 9.8	13.2	▲ 3.7	14.0	0.0	99.0	0.2	102.8	0.9
9月	4,608	6.5	63,570	▲ 7.3	13.8	▲ 6.7	14.7	▲ 0.6	98.5	▲ 0.2	102.7	0.9
10月	4,750	▲ 2.4	71,871	3.2	15.5	1.9	15.6	0.6	98.3	▲ 1.3	102.7	0.7
11月	4,304	▲ 12.0	59,524	▲ 8.5	15.1	0.7	15.8	1.3	98.3	▲ 1.1	102.9	0.9
12月	4,468	0.7	62,118	▲ 1.3	14.6	0.0	15.4	2.0	98.3	▲ 0.8	102.9	0.8
26年 1月	4,025	17.6	55,898	▲ 0.4	12.9	▲ 2.2	14.3	2.9	98.2	▲ 0.3	102.6	0.8
2月	4,496	▲ 1.9	57,630	▲ 4.9			P15.3	P2.1			P102.4	P0.8
3月												
資料出所	国土交通省				埼玉県		厚生労働省		埼玉県		厚生労働省	

●所定外労働時間、常用雇用指数はいずれも事業所規模30人以上、Pは速報値

月次経済指標

	有効求人倍率(季調値)		新規求人数				百貨店・スーパー販売額			
	埼玉県	全国	埼玉県		全国		埼玉県		全国	
	倍	倍	人	前年比(%)	千人	前年比(%)	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)
2022年	1.03	1.28	32,480	9.3	866	10.8	13,431	0.6	206,603	3.2
2023年	1.06	1.31	32,370	▲ 0.3	867	0.1	14,020	3.6	216,049	4.2
2024年	1.02	1.25	31,526	▲ 2.6	836	▲ 3.6	14,506	2.8	223,812	3.4
2025年	1.02	1.22	30,108	▲ 4.5	805	▲ 3.7	15,449	2.2	230,150	1.5
25年 1月	1.08	1.25	35,089	6.4	907	▲ 0.4	1,240	3.1	19,139	3.6
2月	1.07	1.25	34,055	1.3	840	▲ 5.9	1,156	1.4	17,286	0.7
3月	1.08	1.25	26,716	▲ 7.5	807	▲ 3.0	1,315	2.7	19,328	1.7
4月	1.06	1.25	30,199	0.6	840	2.2	1,229	3.0	18,025	1.5
5月	1.05	1.23	33,187	2.9	786	▲ 5.2	1,268	2.2	18,495	0.6
6月	1.02	1.22	25,491	▲ 9.9	772	▲ 2.5	1,271	2.2	18,821	▲ 0.1
7月	1.02	1.22	30,499	▲ 1.3	833	▲ 1.2	1,291	2.2	19,259	0.4
8月	1.00	1.21	31,740	▲ 1.2	744	▲ 6.2	1,315	1.9	19,277	1.8
9月	0.98	1.20	25,688	▲ 10.3	781	▲ 3.2	1,228	1.6	17,993	1.9
10月	0.97	1.19	31,411	▲ 13.0	860	▲ 6.4	1,260	3.1	18,815	3.4
11月	0.94	1.19	28,810	▲ 17.5	719	▲ 10.4	1,320	3.3	19,903	3.2
12月	0.95	1.20	28,410	▲ 4.0	772	▲ 2.4	1,556	0.3	23,809	▲ 0.1
26年 1月	0.97	1.18	32,018	▲ 8.8	866	▲ 4.6	1,282	1.9	19,733	2.6
2月	0.96	1.19	29,680	▲ 12.8	775	▲ 7.8	1,180	0.6	17,645	1.4
3月										
資料出所	埼玉労働局	厚生労働省	埼玉労働局		厚生労働省		経済産業省			

●百貨店・スーパー販売額の前年比は既存店ベース

	新車販売(乗用車)台数				企業倒産				消費者物価指数			
	埼玉県		全国		埼玉県		全国		埼玉県		全国	
	台	前年比(%)	台	前年比(%)	件数(件)	負債額(百万円)	件数(件)	負債額(百万円)	2020年=100	前年比(%)	2020年=100	前年比(%)
2022年	120,086	▲ 7.8	2,223,303	▲ 7.4	285	1,164,079	6,428	2,331,443	101.8	2.4	102.3	2.5
2023年	140,830	17.3	2,651,397	19.3	339	36,671	8,690	2,402,645	104.9	3.0	105.6	3.2
2024年	137,496	▲ 2.4	2,523,105	▲ 4.8	400	60,321	10,006	2,343,538	107.5	2.5	108.5	2.7
2025年	134,127	▲ 2.5	2,533,523	0.4	440	50,016	10,300	1,592,190	110.6	2.9	111.9	3.2
25年 1月	11,725	8.2	216,664	12.2	45	3,178	840	121,449	109.7	3.6	111.2	4.0
2月	12,892	16.5	234,257	15.6	35	2,859	764	171,277	109.4	3.2	110.8	3.7
3月	14,981	5.4	288,234	7.2	35	2,965	853	98,586	109.8	3.2	111.1	3.6
4月	10,002	2.4	191,066	5.2	38	3,113	828	102,802	110.1	3.0	111.5	3.6
5月	9,252	▲ 4.2	177,980	0.7	33	4,293	857	90,389	110.6	3.1	111.8	3.5
6月	11,306	3.1	217,333	2.9	35	6,959	848	105,703	110.2	2.7	111.7	3.3
7月	11,675	▲ 8.0	220,544	▲ 4.0	47	6,117	961	167,035	110.7	3.0	111.9	3.1
8月	8,452	▲ 14.8	159,854	▲ 11.4	29	3,192	805	114,373	111.0	2.7	112.1	2.7
9月	12,126	▲ 10.0	229,510	▲ 4.5	34	3,590	873	112,470	110.9	2.9	112.0	2.9
10月	11,365	▲ 11.0	214,454	▲ 7.4	37	1,970	965	127,521	111.5	2.8	112.8	3.0
11月	10,568	▲ 12.2	201,999	▲ 9.2	30	1,326	778	82,403	111.9	3.0	113.2	2.9
12月	9,783	▲ 3.1	181,628	▲ 1.6	42	10,454	928	298,182	111.9	2.3	113.0	2.1
26年 1月	10,646	▲ 9.2	200,047	▲ 7.7	35	2,631	887	119,815	111.6	1.7	112.9	1.5
2月	11,361	▲ 11.9	211,362	▲ 9.8	28	1,522	851	133,160	111.1	1.6	112.2	1.3
3月	13,108	▲ 12.5	265,438	▲ 7.9	40	3,125	924	114,862				
資料出所	日本自動車販売協会連合会				東京商工リサーチ				総務省			



吉見町長 神田 隆氏

町長のメッセージ

埼玉県ほぼ中央に位置し、東は雄大な荒川の流れてによって形づくられた実り豊かな穀倉地帯、西は奥武蔵の山地から緩やかに延びた緑あふれる比企丘陵という緑豊かな町です。また、国指定史跡「吉見百穴」をはじめ、松山城跡や吉見観音の名で親しまれている安楽寺など、貴重な文化財が数多く残された歴史の宝庫でもあります。産業交流拠点である「道の駅いちごの里よしみ」では、地域資源をいかした商品の生産、販売が進められ、隣接する農産物直売所は連日多くの方で、賑わいを見せています。「歴史・自然・人々のふれあい」これが吉見町の魅力です。

町では、「未来へつなぐ みんなで安心して暮らせるまち よしみ」を将来像に掲げ、町民と行政が一体となり、住む人みんなの笑顔あふれる活力あるまちづくりを進めています。

はじめに

吉見町は、埼玉県のほぼ中央、関東平野の西部に位置する。町を包み込むように、北東側を荒川、南西側を市野川が流れている。江戸時代初期（1620年頃）には、地域をぐるりと囲む高さ約3mの輪中堤防「吉見領^{いづみ}堤防」が築かれた。町にある「さくら堤公園」は、この堤防の一部を整備したもので、今でも江戸期の堤防の痕跡が現地に残る。ここは県内の桜の名所のひとつに数えられ、1.8kmにわたる見事な桜並木が続く。早春には、菜の花が辺りを覆いつくし、春色のコントラストが公園を包む。他にも、町には古くからの史跡も多く残る。古墳時代末期の横穴墓群「吉見^{ひやく}百穴^{あな}」は有名だ（表紙写真）。湖沼や田園地帯も多く、歴史ある文化と豊かな自然、四季折々の彩りに満ちた穏やかな風景が町には広がっている。

山々より流れる荒川水系の河川により土地が肥沃で、豊かな土壌を活かしたイチゴ栽培が盛んである。東京など大消費地への好立地を活かし、町は県内有数のイチゴの産地となった。1950年代に栽培が始まったとされる吉見町のイチゴは、「味」と「品質」が評判を呼び、今では収穫シーズンの直売所は大行列になる。1月から5月まで楽しめるイチゴ狩りは、県内外から多くの観光客が訪れる。2013年に町民からの公募による「吉見いちご」を使用した町のお土産スイーツの開発が本格化。産業交流拠点「道の駅いちごの里よしみ」によりブランド化が一層進められ、今では町の魅力を象徴する特産品となっている。

町の持続的発展につなげる道路拡張

町の中央には、隣接する市を結ぶ主要地方道東松山鴻巣線が東西に走る。町と鴻巣市の境にある荒川を横断する道路であり、間にある荒川の川幅は2,537m。「川幅日本一」の標柱が立つ、県内でもよく知られた道だ。全長約11kmの同路線は、東松山市から吉見町を経て鴻巣市へ至る、東西方向の交通の要所となっている。現在、町は県と連携して東松山鴻巣線の完全4車線化を進めている。約30年前から進められてきた大規模事業で、地域の課題である交通渋滞の解消と将来の交通量増加への対応が目的だ。整備が進むことで、上尾道路や国道254号バイパスなど北関東へとつながる主要幹線道路と一体的につながり、関越道東松山ICへのアクセスも向上する。事業は着々と進んでおり、町内の沿道地域の生活環境の向上や、産業経済の発展の期待を背負う。町は広域的な交流と連携の促進、社会経済活動の持続的な発展を見据えている。



4車線化が進む町中央の主要地方道東松山鴻巣線

吉見町概要

町の木 けやき 町の花 きく 町の鳥 ひばり

人口(2026年4月1日現在)	17,232人
世帯数(2026年4月1日現在)	7,956世帯
平均年齢(2026年1月1日現在)	54.0歳
面積	38.64km ²
製造業事業所数	62所
製造品出荷額等	1,387.5億円
卸・小売業事業所数	93店
商品販売額	83.3億円
農業産出額	15.2億円
一人当たり都市公園面積	126.22m ²

資料:経済産業省「経済構造実態調査」ほか



主な交通機関

- 関越自動車道 東松山ICから町役場まで約7km
- 圏央道 川島ICから町役場まで約8km

未来を見据えた産業拠点の開発

道路拡張に合わせ、吉見町は埼玉県企業局と連携し、新たな産業拠点づくりを進めている。昨年着工した「吉見大和田地区産業団地」は、拡張中の東松山鴻巣線沿道、荒川河川敷に近い町の“玄関口”に位置し、約17.2haの広大な工業用地を整備する計画だ。企業立地と一体的に工業用地の造成を進めることで、町内の工業・物流業のさらなる発展を図る。ここは、町中央の下細谷地区、北西側のながやつ工業団地、西側の城南産業団地に続く4つ目の産業拠点で、いずれも東松山鴻巣線とのアクセスが良好だ。既存の団地は拡張するなど、企業からのニーズの高さがうかがえる。

吉見町は北関東の高速道路網と首都圏の大消費地の境に位置する。交通インフラの向上も今後見込まれるなか、すでに製造・物流・食品加工など多様な企業が集まり、地域産業と雇用を支えている。持続可能なまちづくりに向け、町では未来を見据えたさらなる取り組みが進んでいる。



町の新たな産業拠点「吉見大和田地区産業団地」の整備区間

未来に向けたまち振興計画の後期期間が開始

こうした取り組みが進むなか、吉見町では本年4月から、まちづくりの基本計画である「第六次総合振興計画」の後期期間が始まった。将来像「未来へつなぐみんなで安心して暮らせるまち よしみ」を掲げ、「20年先への種まき」の想いを込める。10年間の計画の中で、町はさらに10年後からスタートするまちづくりも見据えて、子どもや孫たちの未来に向けた基盤づくりを進めていく。

交通基盤の強化は、町の将来像を支える大きな柱だ。東松山鴻巣線の4車線化により、広域交通ネットワークとの結節点としての役割が高まる。物流効率の向上や企業立地の促進が期待される。整備が進む吉見大和田地区産業団地も、地域経済の活性化と雇用創出に寄与する見通しだ。

一方で、吉見百穴やさくら堤公園に象徴される歴史・文化・自然環境を次世代へ継承することも重要となる。景観資源を守りながら観光振興や交流人口の拡大を図る取り組みも進める。町は、道路を軸にした「未来地図」を描いている。用途別の土地利用に町民の生活や想いを重ね合わせ、様々なライフステージに寄り添うまちづくりを目指している。

歴史と自然に育まれた穏やかな町並みに、交通・産業基盤の強化という新たな動きが重なる吉見町は、“暮らしやすさ”と“発展性”を備えた地域として、未来へ向けた次のステージに歩みを始めている。

(齋藤康生)

市町村経済データ

住宅地平均価格および平均変動率(地価公示)

(2026年1月1日現在)

市町村名	平均価格 (円/㎡)	平均変動率 (%)	市町村名	平均価格 (円/㎡)	平均変動率 (%)	市町村名	平均価格 (円/㎡)	平均変動率 (%)
さいたま市	246,700	2.7	朝霞市	278,400	4.0	滑川町	53,100	▲0.1
川越市	153,700	2.1	志木市	263,900	3.0	嵐山町	36,600	▲0.3
熊谷市	54,700	0.7	和光市	305,000	4.0	小川町	25,300	▲0.6
川口市	264,900	4.5	新座市	221,000	2.5	川島町	33,700	▲1.1
行田市	33,200	▲0.2	桶川市	97,300	1.2	吉見町	27,200	▲0.4
秩父市	54,200	0.0	久喜市	60,500	▲0.1	鳩山町	29,800	▲0.5
所沢市	193,200	2.7	北本市	90,000	1.0	ときがわ町	16,900	▲1.2
飯能市	90,300	1.4	八潮市	144,000	3.9	横瀬町	31,700	▲0.4
加須市	33,200	▲0.3	富士見市	193,800	3.3	皆野町	30,600	▲0.6
本庄市	41,300	0.2	三郷市	119,500	1.7	長瀬町		
東松山市	57,600	0.2	蓮田市	92,500	0.6	小鹿野町	21,800	▲1.2
春日部市	89,500	0.1	坂戸市	92,200	0.5	東秩父村		
狭山市	108,500	1.1	幸手市	46,100	▲0.4	美里町	15,000	▲0.4
羽生市	27,700	▲0.4	鶴ヶ島市	99,800	0.7	神川町	13,500	▲0.8
鴻巣市	67,300	0.4	日高市	49,700	0.4	上里町	35,500	0.0
深谷市	43,600	0.7	吉川市	93,900	0.9	寄居町	37,400	0.0
上尾市	123,300	1.6	ふじみ野市	210,200	3.6	宮代町	58,600	0.1
草加市	160,300	4.4	白岡市	83,500	0.2	杉戸町	54,700	0.2
越谷市	151,400	3.4	伊奈町	84,600	0.0	松伏町	62,400	0.7
蕨市	325,200	5.9	三芳町	159,800	3.5			
戸田市	312,300	6.1	毛呂山町	37,000	▲0.1			
入間市	104,100	1.5	越生町	23,700	▲0.5			
						市町村計	149,500	2.0

資料:埼玉県「令和8年 地価公示のあらまし」

(注1) 空欄は調査地点のないもの

(注2) 平均変動率は、標準地(ただし新規、選定替え及び前年休止地点を除く)の変動率を単純平均したもので、平均価格の変動率ではない

(注3) 新規、選定替え及び前年休止地点は、平均価格には含まれているが、平均変動率には含まれていない

埼玉りそな経済情報 2026年5月号

2026年5月1日発行

発行 株式会社 埼玉りそな銀行

企画・編集 公益財団法人 埼玉りそな産業経済振興財団
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂2-9-15
Tel:048-824-1475 FAX:048-824-7821
ホームページアドレス <https://www.sarfic.or.jp/>

